

## 令和2年4月1日からの上下水道お客さまセンターについて



上下水道部では、平成26年4月1日から窓口・検針等の業務を民間事業者へ委託し、お客さまセンターにて業務を行っています。このたび、契約満了に伴う事業者の選定を行った結果、下記のとおり変更になりますので、お知らせいたします。

### 受託業者

酒田アクアパートナー株式会社  
(市内の共同企業体と県外の共同企業体で作った株式会社)

委託期間は5年間の予定です。

受託業者の職員がご家庭を訪問する際は、上下水道部が交付する身分証を携帯しています。不審に思われた場合は、身分証の提示をお求めください。

### 窓口営業時間

月曜日から金曜日まで **8:30~17:15** (土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休業)  
営業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。

### 委託業務

- ・上下水道契約の受付・窓口業務
- ・上下水道料金等の算出や収納
- ・滞納整理や給水停止
- ・給水装置工事の受付・相談等
- ・水道メーターの検針
- ・水道の開閉栓
- ・休日、夜間の緊急対応
- ・排水設備工事の受付・相談等

料金のお支払方法等に、変更はありません。これまで通り、口座振替や納入通知書によるお支払いが可能です。

なお、令和2年10月1日に料金システムの変更を予定しております。そのため、検針票や納入通知書の様式が変更となります。詳細は後ほど、上下水道広報にてお知らせいたします。

上下水道料金のお支払い、水道の使用開始・中止、名義変更、受益者負担金、合併処理浄化槽負担金、その他上下水道に関するお問い合わせは・・・

酒田市末広町14-14

酒田市上下水道お客さまセンター

TEL.0234-22-1811 FAX.0234-22-3160

お支払い等の  
窓口営業時間  
《平日》  
8:30~17:15

酒田市上下水道広報

# みんなの水さかた

2020年春  
第28号

【編集・発行】酒田市上下水道部

酒田市末広町14-14 ☎0234-22-1812

## 「お客さまとともに、 未来につなぐ 酒田の水道」



### 「新・酒田市水道事業基本計画」の見直し

「新・酒田市水道事業基本計画」の見直しに伴い、お客さまのご意見をお聞きするため、令和元年12月4日、令和2年1月22日に上下水道事業懇話会を開催しました。

委員の皆様から、今後の水道事業について、ご意見をいただきました。



伊藤委員

水道事業の広域化は、酒田市に限らず、避けては通れないものとする。酒田市として、将来を見据え、広域化の方策を掲げたことに、安心感が持てる。



小野委員

近年、自然災害が頻発しており、災害対策に万全を期していただきたい。計画の進捗管理をしっかり行って、さらに市民との情報共有に努めていただきたい。

人口減少が進む中で、これからの水道のあり方を考える時期にきていると感じる。30、40年後を見据えた取り組みをお願いしたい。



小松委員

SNSを活用して、積極的に情報を発信していただき、地域で一緒に考えていきたい。

水道は市民の健康を守るためにも大切な事業。これからも安全で安心な水道水を届けてもらいたい。



佐藤委員



佐藤委員

「新・酒田市水道事業基本計画(改定版)」は、酒田市上下水道部ホームページ(URL <http://www.water.sakata.yamagata.jp>)でご覧いただけます。



# 「新・酒田市水道事業基本計画」の見直し

## 見直しの趣旨

平成28年度、上下水道部では、水道事業の方向性を示す「新・酒田市水道事業基本計画（計画期間10年間）」を策定し、取り組みを進めてきました。しかし、策定後4年が経過したことから、水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、今回見直しを行うこととしました。

### 基本理念

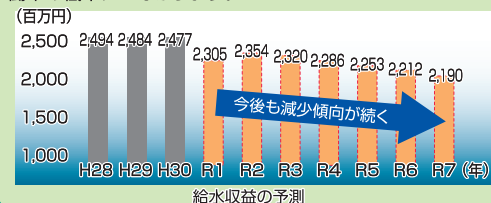
「お客さまとともに、未来につなぐ酒田の水道」



## 水道事業を取り巻く課題

### 水需要の減少

人口減少に伴う水需要の減少は、給水収益の減少や施設稼働率の低下につながります。



### 水道施設の状況

高度経済成長期に、集中的に整備した施設の老朽化が進み、更新時期を迎えています。更に、小牧浄水場では、近年の豪雨や濁水により、水源である最上川の水質悪化が顕在化するなど、多くの課題を抱えています。



### 経営環境

経営環境が厳しさを増す中で、今後も経営基盤の強化に向けた取り組みが必要となります。



官民連携等による経営効率化 (小牧浄水場運転管理業務)

### お客さまサービス

お客さまに満足していただけるサービスを提供するため、利用者の視点に立った事業運営が求められます。



上下水道お客さまセンター

### 人材育成

専門的な知識や経験を有する職員を、継続的に育成・確保することが、今後の事業運営において重要となっています。



技術研修による育成

## 新・酒田市水道事業基本計画の主な取り組み

### 安全

### 安全で安心な水の供給

#### 水源水質の監視

安全な水道水を継続的に供給するため、水源水質のリスクの把握と、国や県をはじめとする関係機関との連携の強化を図ります。



油類流出への対応

#### 「水安全計画」の適切な運用

水源から蛇口に至るまで、水質管理の徹底を図り、安全性が担保されるシステムづくりを目指し、水安全計画の適切な運用と見直しを図ります。



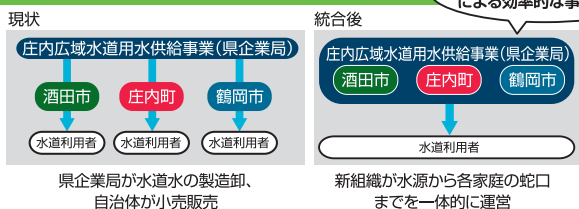
### 強靱

### 災害に強い強靱な水道の構築

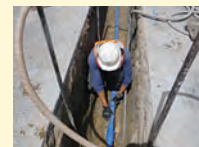
#### 地域全体で水運用の見直し

水源水質の悪化などのリスクに対応するため、広域的な水運用への転換を図り、災害に強い水道システムを目指します。

#### 広域化による組織統合のイメージ



#### 水道施設の計画的な更新・耐震化



水道施設の耐震化計画を策定し、耐震化を進めることで、大規模地震被害を最小限にとどめる強靱な水道を目指します。

#### 基幹管路の耐震化率

47.7%(H30) ⇒ 50.9%(R7目標)

※簡易水道・小規模水道を含む

### 持続

### 安定的な事業運営の持続

#### 広域化による経営基盤の強化

庄内地域では、今後、更なる人口減少が予想されることから、酒田市、鶴岡市、庄内町の水道事業と、庄内広域水道用水供給事業の統合を実現することによって、経営基盤の強化を図ります。

課題	取り組み	
人材面(ヒト)	職員数の減少 年齢構成の偏り	技術の継承 人材の育成
施設面(モノ)	水道管の老朽化 施設稼働率の低下	効率的な更新投資 水道施設の統廃合
財政面(カネ)	給水収益の減少 更新費用の増大	経営の効率化 民間事業者の活用

広域化の推進

## 広域化の実現による持続可能な水道事業に向けた取り組みを進めます

### トピックス 「酒田市クリーンセンター消化ガス発電事業」の導入に向けて

酒田市クリーンセンターでは、下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを有効活用するために、令和4年度から「消化ガス発電事業」の導入を目指しています。



### 消化ガス発電事業とは?

消化ガスは、下水汚泥を微生物が分解する過程で発生するメタン由来の可燃性ガスです。本市では、そのガスを発電事業者へ売却します。発電事業者は、購入した消化ガスを使用して発電し、電力会社へ売電することで事業を運営する仕組みです。

Point! これまで焼却処分していた消化ガスをリサイクルすることで...

収益向上 & CO<sub>2</sub>削減